

拓殖大学 メディア情報研究室

〒193-0985

東京都八王子市館町 815-1

お話を伺った方：皆川 全弘 様

ご使用機種：MF-2200D



Q. どのようなきっかけでMUTOHを知って下さいましたか？

私は、デザイン系の学校に通っていたのでドラフターを使ったことがあり、古くからMUTOHを知っていました。また、知人にドラフターのデザインに関わった人がいたこともMUTOHを知るきっかけになりました。私のデザイン事務所でもMUTOHからCADを導入させていただいたこともあります。

Q. MF-2200Dを選定された理由を教えてください。

国産であり大学の研究予算内で買える価格、300mm角の造形が行え、導入後のサポートが充実していることが主な理由です。特に、他社の3Dプリンタの中にはサポート材を使用すると産業廃棄物が出てしまうものがあり、そうすると専門の業者が必要になってしまいます。しかし、MF-2200Dはサポート材が水溶性のため水に流して簡単に処理ができるということも大きな選定のきっかけになりました。

Q. どのように活用されていますか。

1年生の講義から3D CADの授業がありますが、手書製図を学んでいない、図面の見方や書き方が分からない為に、うまくモデル作成ができない学生が多いと感じております。

そこで、モデル化をする前に実際に図面化するモデルを3Dプリンタで出力し立体にして見せることにより、学生自身の頭の中でモデル化する立体を具体的にイメージすることができるようになり3D CADでのモデリングに役立っています。

Q. 使用されて良いと感じた点がありますか？

使い方さえ覚えてしまえば学生でも割と簡単に出力できることです。

また、実際にCADデータを出し形にすることでバーチャルだけで見ているとは気づかないことも多くあります。

そこで学生自身でMF-2200Dで作成した出力物を観察することにより新たな発見をしてもらい理解を深めることに活躍しています。また、ランニングコストも安価で、使用後のメンテナンスが簡単にできることも気に入っています。

Q. 弊社へのご要望などございますか？

大きな要望は特にはありません。ですが、フィラメントのガイドの役割を果たしているチューブが出力時の振動で外れてしまい引っかかることがあります。チューブを固定できるようなものがついていればありがたいです。

